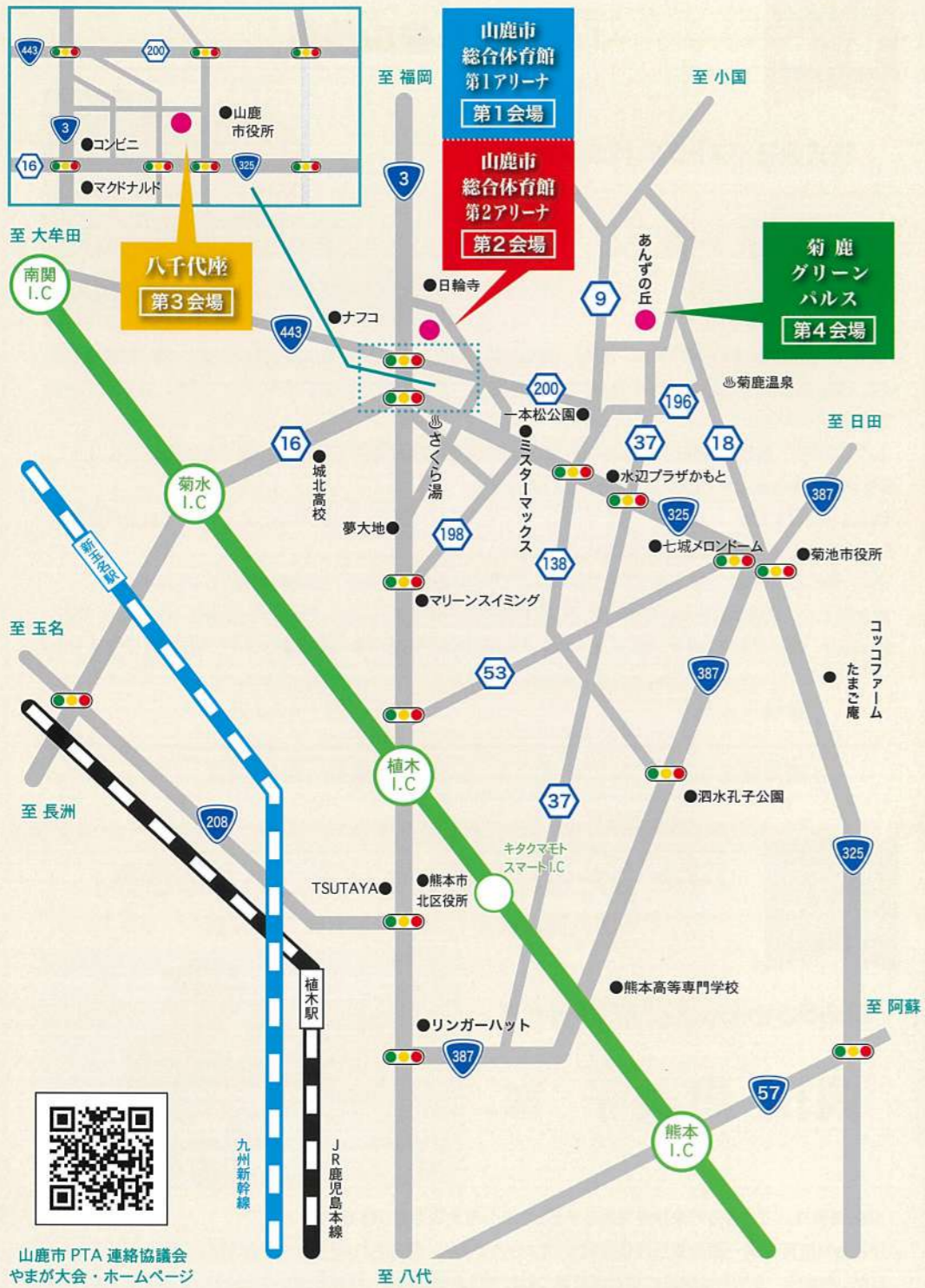


会場案内図



第1会場



山鹿市総合体育館 第1アリーナ
山鹿市熊入町 416 番地
tel:0968-43-0090

第2会場



山鹿市総合体育館 第2アリーナ
山鹿市熊入町 416 番地
tel:0968-43-0090

第3会場



八千代座
山鹿市山鹿 1499 番地
tel:0968-44-4004

第4会場



菊鹿グリーンパルス
山鹿市菊鹿町下永野 650 番地
tel:0968-48-3198

第48回

熊本県PTA研究大会

やまが大会

令和4年
11月12日
(土曜)



PTA 会員の皆様

皆様方におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
いまだ収束の見通しが立たないコロナ時代。このような試練の時だからこそ、PTAも前例や慣例にとらわれない新しい発想と挑戦が必要だと考えます。
今年の熊本県PTA研究大会は「進化の時」をスローガンに、新しい形での大会開催に挑戦いたします。これを機に、今後のPTA活動の進化に繋がっていただくと幸いです。
皆様のご参加を「山鹿の地」で心よりお待ちしております。

第48回熊本県PTA研究大会 やまが大会
大会会長：田中 万里 実行委員長：永田 壮紘

© Yamaga YEG/illustration by Tomori Kanakogi

表紙写真：国指定重要文化財「八千代座」館内。

イラスト：山鹿の夏の風物詩「犬子ひょうたん」。新キャラクター「ぎおんちゃん」と「ちよまる」。

<開催についてのお知らせ>

当日は新型コロナウイルス感染予防対策に留意して開催いたします。
ご参加の皆様も感染予防にご協力ください。
尚、県内の感染状況や自然災害等の影響により開催を中止する場合がございます。
熊本県PTA連合会ホームページをご確認ください。
また、お子様連れでの参加はご遠慮ください。



熊本県PTA連合会
ホームページ



手を洗うモン
#WashHands



くっつかないモン
#KeepDistance



換気をするモン
#OpenWindow

進化の時

歴史と未来 交わる山鹿発 新しい絆を

主催：熊本県PTA連合会 / 主管：山鹿市PTA連絡協議会



第48回 熊本県PTA研究大会

やまが大会



第1会場
式典・記念講演

「eスポーツ 2.0」

～eスポーツがインストールされた社会がもたらす新しい価値～

福岡 e スポーツ協会 会長

中島 賢一 様



世界にはたくさんのスポーツがあり、スポーツを体験することは子どもたちの健やかな成長にも欠かせない要素です。その中でも近年注目されているeスポーツ。スポーツは「体を動かすこと」ではなく「楽しむこと」がより重要視され、IOC初のeスポーツ大会「オリンピック・バーチャルシリーズ(OVS)」が2021年に開催されるほどになっています。

本大会記念講演では、新しいスポーツ、そして新しい教育の在り方として注目されているeスポーツを、様々な角度から提唱されている中島賢一様にご講演をいただきます。なぜ今こそeスポーツなのか、これからの子どもたちにどのような影響を与えてくれるのか。親世代の私たちもまずは知ることが重要です。

教育において、本大会のテーマでもある『進化』を実感できる記念講演となっております。ぜひ皆さんで学び、子どもたちに伝えていきましょう。

会場・人員	山鹿市総合体育館 第1アリーナ・1000名
運営責任者	教養委員長：下山 幸之助

◎大会趣旨

古来より人類は個のつながりによって社会を形成し、支え合いながら繁栄してきました。PTAもまた、家庭と学校そして地域をつなぎ、未来を生きる子どもたちが、心豊かにたくましく成長することを願い、共に手を携えてきました。

しかし、新型コロナウイルス感染症の大流行により世界が一変し、訪れたウィズコロナ時代。コロナ禍の影響により「GIGAスクール構想」は前倒しとなり、ICT環境の整備は急速に進められ、タブレットの活用やリモート授業など学びの現場は大きく変わりました。

世界中で人の往来が制限され、自由な交流が困難になった今、私たちは新たなつながり方を模索し、新しい絆を生み出す必要があります。そして、共に激変する時代の流れに立ち向かい、どんな困難な状況の中であっても学びの歩みを止めることなく前進し、その波を乗り越えていかなければなりません。

今こそ『進化の時』です。親の学びを深める『深化』、子どもたちのさらなる『真価』の追求、そしてPTAの新しい姿への『進化』。歴史と未来が交わる【やまが大会】から、新たな絆を育みましょう。子どもたちの健やかな成長のために。

◎大会スケジュール

第1会場・第2会場	第3会場・第4会場
受付開始 12:15～12:45 (30分)	受付開始 13:00～13:45 (45分)
オープニングアトラクション 12:45～13:15 (30分)	オープニングアトラクション 13:45～14:15 (30分)
開会行事(含式典) 13:20～14:00 (40分)	開会行事 14:15～14:25 (10分)
記念講演(第1会場) 14:30～16:00 (90分)	講演(第2～4会場)
閉会行事(第1会場) 16:00～16:15 (15分)	閉会行事(第2～4会場) 16:00～16:10 (10分)

期 日 令和4年11月12日(土)
 主 催 熊本県PTA連合会
 主 管 山鹿市PTA連絡協議会
 後 援 熊本県、熊本県教育委員会
 (予定) 山鹿市、山鹿市教育委員会
 一般財団法人
 熊本県PTA教育振興財団



第3会場
食育

「進化する里山農業」

株式会社パストラル 代表取締役

市原 幸夫 様



食育は、生きる上での基本であり、知育、徳育や体育の基礎となるべきものと位置付けられ、様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てるものです。

しかしながら、食料の6割以上を輸入に頼っている日本の実情は危機的状況にあり、輸入相手国の状況によって、農林水産物等の輸入ができなくなることも考えられます。

現に近年の異常気象、コロナ禍、ウクライナ紛争で世界的食糧危機は現実のものとなり、日本では食料自給率を上げることが最重要課題となっています。

そのためには、国土の7割、農業産出額の4割を占める中山間地(里山)の農業振興がカギとなります。本会場では、衰退が進む中山間地(里山)農業の新しいカタチの追求をしている「株式会社パストラル」の代表取締役、市原幸夫様を迎え、暮らしと生命を支える里山事業と都市民の関係性についてご講演をいただきます。

会場・人員	八千代座・400名
運営責任者	広報委員長：亀崎 清貴

第2会場
特別支援

「みんな違ってあたりまえ」

～認め合い、支え合う社会を目指して～

熊本県立かもと稲田支援学校 教諭

濱武 紀久子 様



障がいのある子どもの自立と、社会参加をするための主体的な取り組みを支援するため、2007年4月から「特別支援教育」が学校教育法に位置付けられ、特別支援学校に限らず、すべての学校において、障がいのある子どもたちの支援をさらに充実していくこととなりました。

最近では多くの小中学校で「特別支援学級」などが設置され、学校の中でいろいろな学び方がありますが、少しずつ認知されてきたのではないのでしょうか。しかし、特別支援教育の中身やその目的について私たちは、日頃から関心を持って十分理解しているとは言えない面があります。

本会場では、一人ひとりが積極的に参加・貢献できる社会である「共生社会」の実現に向けて、様々な学校現場で特別支援教育に取り組まれてきた濱武紀久子様をお迎えし、ご自身の経験や体験を元にご講演をいただきます。誰もがお互いを認め合い、支え合う社会にしていけるためのヒントを皆さんで見つけましょう。

会場・人員	山鹿市総合体育館 第2アリーナ・300名
運営責任者	総務委員長：吉村 俊彦

第4会場
家庭教育

「子どもたちに手渡していきたい本の世界」

～読み聞かせから育む子どもたちの真価～

読み聞かせボランティアあわぶっく 代表

前田 恵美子 様



家庭教育は、これからの未来を支える子どもたちへの大切な贈り物です。子どもの教育の第一義的責任は保護者が持つものであり、尊重されなければなりません。しかしながら、子どもは家庭の中だけで育つわけではありません。学校や地域の様々な人々と関わり、見守られながら成長していきます。

本会場では、地域ボランティアとして読み聞かせを行われている「あわぶっく」代表の前田恵美子様を講師にお迎えして、ご講演をいただきます。皆さんは、読み聞かせが子どもたちに、どのような効果があるのかご存知ですか?語彙力が鍛えられ、コミュニケーション能力の向上や記憶力の向上、文章理解力の向上といった効果がとても期待できます。

この講演を通して、読み聞かせから育む子どもたちの『真価』とは何なのか、そして、コロナ禍における私たち大人が求められている『進化』とは何かを、共に考え学びあひましょ!

会場・人員	山鹿市あんの丘多目的体育館グリーンパルス・300名
運営責任者	家庭教育委員長：橋本 昭